

吉岡町 教育支援センター



「ひばいの家」



1 「ひばいの家」ってどんなところ？

吉岡町教育委員会が令和6年7月に開室した、不登校および不登校傾向の子どもたちのための居場所です。とくに、ここは学校復帰を第一目標とせず、学校や学習の話をスタッフからすることもありません。子どもたちはここで、

- 自分で考えて、決めて、やりたいことをやりたいようにし、自分の思いで過ごしていくことを通して自主性を高めていきます。
- 同じ悩みを抱える者同士の交流の場としたり、自分の話に傾聴してくれる大人や興味あることを共有してくれる人とつながり、社会性を身につけていきます。

ここでの生活を通して、様々な分野の学習や活動に対する興味を高め、一人一人が自立に向けた心身を養えるように支援していきます。そのような中でエネルギーが充電され、学校復帰への思いが自ら高まってきた場合は、学校の担任の先生と連絡を取りながら準備を進めていきます。

2 通室できる子どもは？

- 吉岡町に住んでいる小学生と中学生であれば、誰でも通室できます。

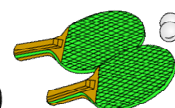


3 開いている日は？ 開いている時間は？ 通い方は？

- 毎週、月曜日～木曜日（祝日は除く）。時間は午前9時から午後3時までです。
 - ・自分の行きたい日の行きたい時間に通ってくれば大丈夫です。
 - ・夏休み、冬休み、春休み中も同じように開いています。
- 自転車や徒歩で自力で気をつけて通うか、保護者の送迎となります。

4 一日の予定はどうなっていますか？

- 基本的な線はありますが、一人一人の状況に応じて柔軟に対応していきます。
- ここでの生活に慣れてきたら、一人一人が計画した活動を自主的に行いながら、楽しく有意義に過ごせればと考えています。
- 12時からの1時間は「昼食・休憩」の時間となります。午前中から午後まで在室する場合は、当面、お弁当の用意をお願いします。



5 どんな活動をするのですか？

- 自分で何をするかを決めて、自分だけでやったり、仲間やスタッフと一緒にあって一日を自由に過ごします。
 - ・仲間やスタッフとおしゃべりをしたり、軽い運動やゲームをしたりして楽しく過ごします。
 - ・自分のペースで個別学習にも取り組みます。スタッフが支援を行います。



- 体験活動をはじめ、季節行事、スポーツ活動等、多様なイベントを企画します。これらを通して、仲間づくりや集団意識を自覚するきっかけをつくっていきます。
- 相談活動（カウンセリング）
 - ・生活のこと、友だちのこと、家族のこと、学習のこと、進路のことなど、悩みや不安などを解決できるよう支援します。また、専門の心理カウンセラーが定期的に来室して、相談を受けます。

6 「ひばりの家」と学校とのかかわりはどうなっていますか？

- 通室している子どもたちについて、学校の先生と随時情報交換をしています。子どもたちから要望があれば、学校と「ひばりの家」を自由に行き来することもできます。
- 「出欠席」に関しては、在籍校の校長先生が、学校復帰のために適切であると認める場合、通知表の出欠は「出席扱い」となります。



7 相談したいときはどうすればよいのですか？

- まずは学校の担任の先生に相談するのがよいでしょう。「吉岡町 ひばりの家」や「吉岡町教育委員会 学校教育室」へ連絡してもよいです。
- 「ひばりの家」では随時相談を受け付けています。本人、御家族の方、どなたでも大丈夫です。



8 「ひばりの家」を見学するにはどうすればよいのですか？

- 相談するときに「ひばりの家」を見学したいことを伝えてください。教育委員会で日程の調整をしてから連絡を差し上げます。
 - ・基本的に本人と保護者で来てくれればよいのですが、担任の先生（学校）が一緒でも、保護者だけでも大丈夫です。



9 「ひばりの家」に入室するにはどうすればよいのですか？

- 見学後に、学校の担任の先生に話をし、入室の手続きをしてください。
- 入室後 2 週間程度の体験入室をしてもらうことになります。その間に本人の気持ちを確かめるとともに、保護者の考えを決めましょう。学校からアドバイスをもらうのもよいでしょう。

吉岡町教育支援センター「ひばりの家」

〒370-3608

吉岡町下野田 446 番地 3

TEL.0279-26-7385

E-mail : ta-hibari@yoshioka.ed.jp

吉岡町教育委員会事務局 学校教育室

〒370-3608

吉岡町下野田 472 番地

TEL.0279-26-2286

FAX.0279-55-5933

E-mail : y-kyou1@town.yoshioka.gunma.jp

